

7. PDCI による施策推進と計画達成の評価

7.1 計画の評価に関する考え方

計画の実行・推進にあたっては、公共交通の利用実績や市民意識調査等に基づき、目標の達成状況を評価するとともに、PDCI サイクルによる定期的、継続的な見直しを行っていきます。

計画の評価は、計画目標で定めた指標と目標値を基本とし、社会経済情勢の変化や公共交通の利用状況等から、必要に応じて施策の見直しを行います。

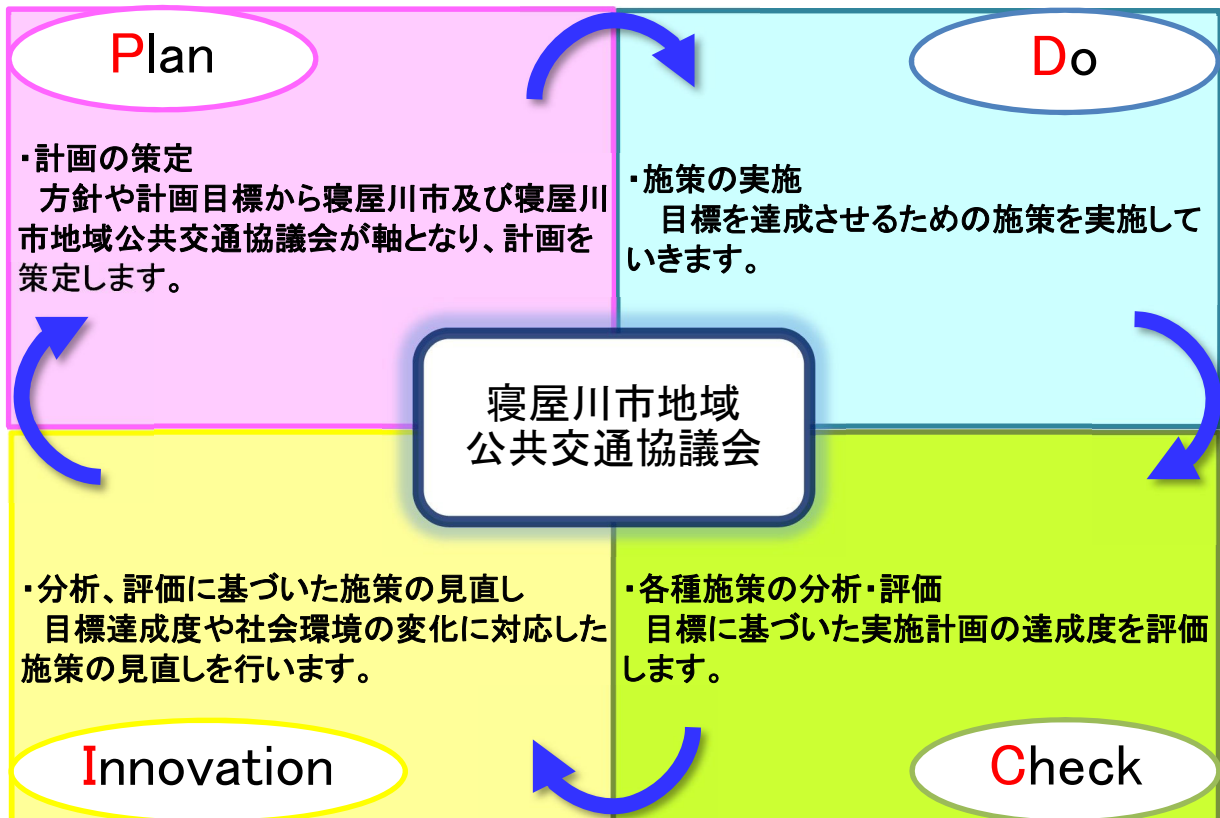


図 寝屋川市地域公共交通協議会を中心とした PDCI サイクル

7.2 事業主体の役割

地域公共交通網形成計画にかかる施策は、寝屋川市地域公共交通協議会での協議を踏まえ、市民、交通事業者、行政がそれぞれの役割を担いながら実現に向け取り組みます。

市民（地域住民、企業や学校等）	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通を積極的に利用していきます。 ・将来の公共交通を支えるために、利用者側としての路線・サービスに対する要望や改善提案を行います。 ・企業や学校等は地域の関係機関の一員として、公共交通のサービス向上の事業活動に参画します。
交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・交通サービスの安全性の確保と市民にとって利用しやすい運行サービスを継続します。 ・地域ニーズに沿った公共交通ネットワークの整備を行政とともに検討します。 ・路線バスの安全性を確保していくと共に、利用推進に関わる計画に参画し、住民のバス利用を快適にします。 ・タクシーに関わる事業へ積極的に参画し市域住民の生活を支えます。
行政	<p>【寝屋川市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の地域ニーズ、鉄道4駅周辺の交通アクセスや、まちづくりの観点等から市内の公共交通サービスの維持・推進に必要とされる事業計画を検討します。 ・交通事業者・他市との連携を進めていくために、コーディネーターとしての役割を担います。 ・協議会の事務局を担い、施策に関わる事業者等の取組を支援します。 ・地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づいて、PDCI サイクルによる定期的・継続的な見直しを行います。 <p>【寝屋川市外の自治体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寝屋川市とともに広域連携の実現を図る観点から対象となる計画に参画します。

7.3 計画の目標

将来像である「だれもが安心・気軽に利用できる公共交通ネットワークの実現」に向けて目標を以下のように設定します。

基本方針・方向性のもとに位置付けられた施策を着実に実施することにより、公共交通利用者の維持や公共交通サービスの満足度向上を目指します。

少子高齢化が進む本市では、高齢者の移動支援や公共交通利用促進も重要な課題の一つであり、これらも目標として設定します。

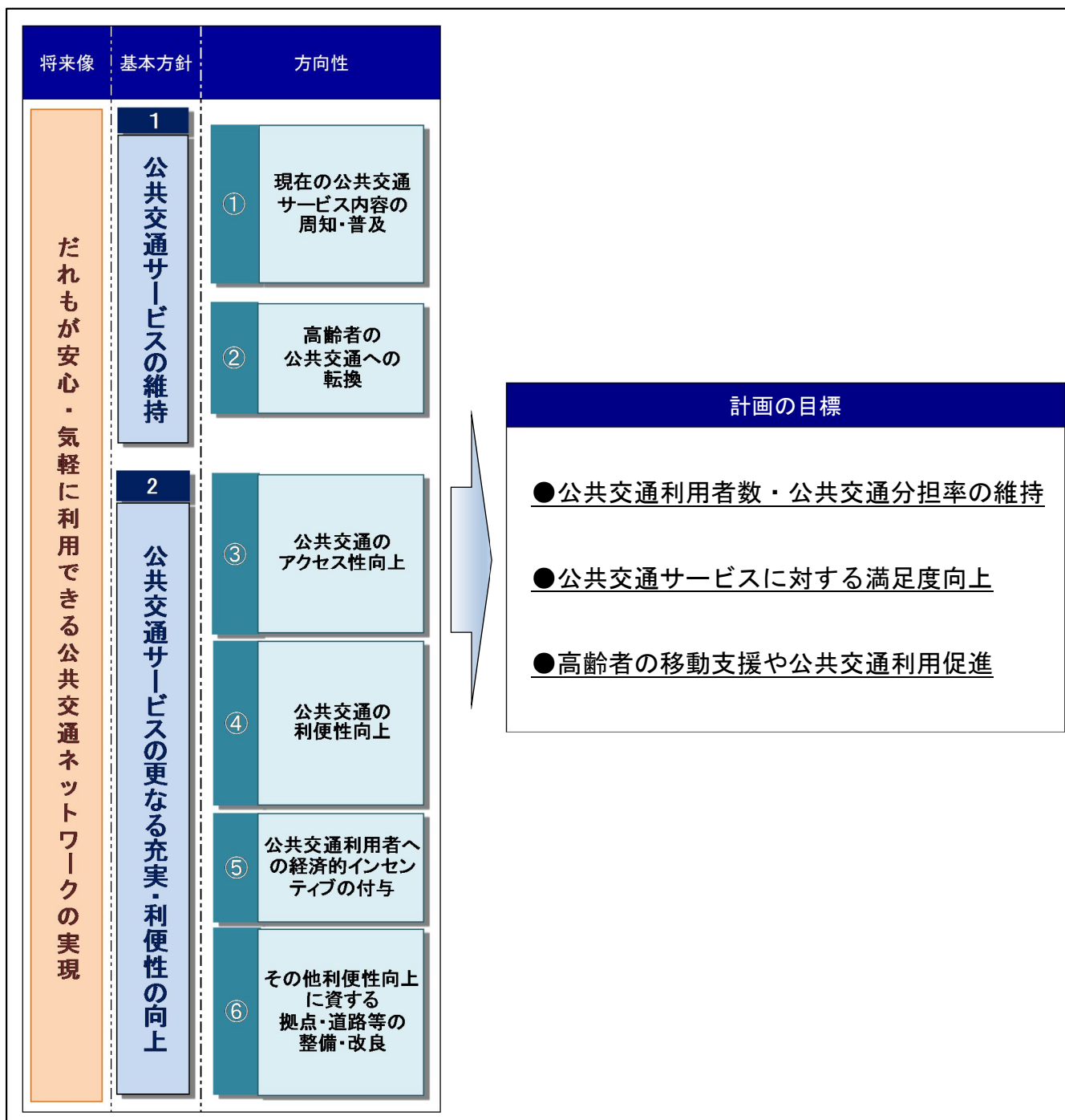


図 基本方針と方向性を踏まえた計画の目標

7.4 計画達成の評価と検証方法

将来像である「だれもが安心・気軽に利用できる公共交通ネットワークの実現」に向け、計画の達成状況を評価するための評価指標および目標値を以下のとおり設定します。

目標	評価指標	現状	目標値	評価の概要	
				データ収集方法	時期
公共交通利用者数・公共交通分担率の維持	路線バスの 1日平均乗降者数	47.7千人 [H28(2016)]	(46.6千人 ^{※1}) 47.7千人 [H33(2021)]	交通事業者 提供データ	毎年
	タウンくる 木屋ルート の 1日平均乗降客数	137人 [H29(2017)]	(134人 ^{※1}) 137人 [H34(2022)]	交通事業者 提供データ	毎年
	タウンくる 木田・河北ルート の 1日平均乗降客数	234人 [H29(2017)]	(228人 ^{※1}) 234人 [H34(2022)]	交通事業者 提供データ	毎年
	タウンくる 黒原ルート の 1日平均乗降客数	344人 [H29(2017)]	(335人 ^{※1}) 344人 [H34(2022)]	交通事業者 提供データ	毎年
	鉄道4駅の乗降客数	15.44万人 [H28(2016)]	(15.08万人 ^{※1}) 15.44万人 [H33(2021)]	交通事業者 提供データ	毎年
	公共交通分担率	20.4% [H22(2010)]	20.4% [H32(2020)]	パーソントリップ 調査 ^{※4}	計画 最終年
公共交通サービスに 対する満足度向上	バス利便性に対する 満足度	38.2% [H29(2017)]	43.2% [H34(2022)]	アンケート調査 ^{※2}	計画 最終年
	鉄道利便性に対する 満足度	66.6% [H29(2017)]	70.0% [H34(2022)]	アンケート調査 ^{※2}	計画 最終年
高齢者の移動支援や 公共交通利用促進	高齢者の「ほぼ毎日外 出する人」の割合	43.6% [H29(2017)]	48.6% [H34(2022)]	アンケート調査 ^{※2}	計画 最終年
	高齢者の運転免許自主 返納者の割合	3.28% [H29(2017)]	5.68% ^{※3} [H34(2022)]	交通管理者 提供データ	毎年

※1：人口ビジョンにおける人口減少を考慮した推計値（P.6を参照）

※2：公共交通に関するアンケートで平成29(2017)年度に実施

※3：自主返納者数は平成30(2018)年8月時点のものであり、目標値は市独自推計による

※4：パーソントリップ調査は、1日の人の動きを把握するためのアンケート調査（P.19を参照）